

小学校第6学年 図画工作

⑫鑑賞探偵団「安堵町の宝をさがせ」 —美術館を活用した郷土の芸術家の作品鑑賞—

学習のねらい

- 私たちの生活の中に息づく「和の形や色」にふれ、そのよさや美しさなどを感じ取るために、郷土の芸術家、富本憲吉の作品を題材に鑑賞の学習を行う。
- 指導に当たっては、遠足の機会を活用し、県立美術館で本物の作品に出会わせることで、写真等では難しい作品の大きさや質感などを感じ取れるようにする。また、富本の作品と縁のある場所を示す町内の地図を手がかりに、展示作品から特定の作品を探すというゲーム的要素を取り入れ、活動に興味をもてるようにする。
- 美術館の見学が初めての児童が多いと考えられる。見学のマナーを身に付け、興味をもって楽しく鑑賞し、生涯を通じて美術館等に親しめるようにする。



郷土の資源について

本県には県立美術館の他にも、国立博物館、県立万葉文化館など公立の美術館や博物館、私立の美術館等の施設が各地域に散在している。総合的な学習の時間や学校行事等との関連を図るなど、学校や地域の実態に応じて、本物の作品を直接鑑賞する機会を設けたり、学芸員や地域の作家と連携したりして多様な鑑賞体験をさせることは、感性を育み、豊かな情操を培うことにつながる。

実施に当たっては、施設が提供する教材や教育プログラムを活用したり、学芸員などの専門的な知識等を生かしたりした授業が考えられる。事前に美術館や博物館に問い合わせるとよい。



学習指導要領上の位置付け

第5・6学年 B 鑑賞

学習の流れ

1. 富本憲吉の作品を鑑賞する。

1 時間

	学習活動	指導上の留意点（※評価規準）	備考
導入	<p>○本時の活動を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員から富本憲吉についての話を聞く。 ・本時の活動の内容を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館での鑑賞のマナーについても併せて指導する。 ・グループ毎に配布するワークシートと安堵町の地図の使い方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
鑑賞探偵団 ミッション「安堵町の宝をさがせ」			
展開	<p>○グループで話し合いながらワークシートに示された6つの作品を探し出す。</p> <p>○探し出した作品を鑑賞し、それぞれの作品の特徴やイメージをワークシートにまとめる。</p> <p>○それぞれの作品のよさや美しさなどをみんなに紹介する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに作品の断片のみを示すことで、一つ一つの作品の全体と部分をじっくり見させるようにする。 ・作品の形や色の特徴やそこから受けるイメージについて、友達と話し合っってワークシートに書かせることで、多様な作品の見方や考え方に気付けるようにする。 ・話し合いが進まないグループには、形や色など視点を絞って鑑賞してみるように助言する。 ・1人1作品ずつ紹介する作品を決め、グループの意見をまとめて、ワークシートに書くようにする。 ・作品に対する感じ方はそれぞれなので、一つの意見にまとめなくてもよいことを伝える。 <p>※作品の造形的な特徴を捉え、よさや美しさなどを感じ取っている。</p>	
まとめ	<p>○富本の作品と郷土の関わりについて知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表された図柄と縁のある安堵町の場所を結びつけて説明し、作品に対する理解や郷土への愛着を深めさせる。 	

発展的学習・他教科との関連

○発展的な学習として、富本の作品から感じ取ったことを基に、自分の絵皿をつくる活動につなげることができる。

○他教科との関連

- ・社会科「わたしたちのまちのようす」第3学年
- ・道徳C「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」